

【本紙】

広島大学工学同窓会 大阪支部会員各位

2019年8月19日

広島大学工学同窓会大阪支部

高垣 宜和

広島大学工学同窓会 大阪支部 季報（2019年夏号） 送付の件

皆さん、毎日猛暑が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。また、今年のお盆は、10連休という方も多かったのではないのでしょうか。（そうでない方もあると思いますが・・・）

私も、8月9日から8月18日までの10連休でしたので、3日ほど実家の広島へ帰省していました。ただ、お盆の間に大型の台風10号が西日本直撃するという予想でしたし、昨年の台風21号の事もありましたので、毎日台風の進路予想図とにらめっこで、落ち着きませんでしたね。今回の台風10号は、広島・呉に上陸したものの大きな被害がなく良かったと思います。

さて、今回は、6月2日の「広島大学工学同窓会 支部長会議・本部総会」がメインとなります。今回も高垣が出席しましたので、報告させていただきます。

また、今年3月の大阪支部総会に滋賀県支部から参加いただきましたので、6月8日の滋賀県支部総会に大阪支部から豊高さんに参加してもらいました。その様子を豊高さんにまとめていただきましたので、ご覧いただければと思います。

「本部だより」「関西フェニックスの会の総会の案内」も添付しておりますので、興味のある方は、関西フェニックスの会の活動にも参加をお願いします。

<資料>

1. 大阪支部季報（2019年夏号）レジメ・・・・・・・・・・【本紙】
2. 広島大学工学同窓会 支部長会議・本部総会 報告・・・・・・・・・・【別紙1】
3. 滋賀県支部総会の参加報告（豊高さんより）・・・・・・・・・・【別紙2】
4. 本部だよりNO.24（2019-2）・・・・・・・・・・【別紙3】
5. 広島大学関西フェニックスの会 総会の開催（案内）・・・・・・・・・・【別紙4】

以上

2019年8月19日

大阪支部 会員各位

令和元年度 広島大学工学同窓会 支部長会議・本部総会 報告

広島大学工学同窓会
大阪支部 高垣宜和

1. 概要

- (1) 日時：2019年6月2日（日）10:00～
- (2) 場所：ANAクラウンプラザホテル広島

(3) 内容

- 1) 全国支部長
- 2) 物故会員慰霊式
- 3) 定時社員総会
- 4) 懇親会



2. 全国支部長会

- (1) 三浦会長挨拶（2018年5月27日より就任）

- ・同窓会の活性化を目指して各支部の意見を
取り入れながら進めて行きたい。
- ・本部でできることは取組み、支部長会での報告を各支部活動の参考にしてほしい。
- ・2019年4月に広島支部が発足。（広島県全域の会員が入会できる）

- (2) 事務局から（松尾専務理事）

- ・支援制度（会員交流支援制度、支部独自企画支援制度、十年会員支援制度）があるので、さらに活用してほしい。（年々活用件数が増えている）
- ・支部の事務作業軽減支援で、支部総会案内郵送などの支援が可能なので、利用してほしい。（去年は7件）

- (3) 支部報告

- ・関東支部は、カープ応援、広大同窓生との交流会の支援など、活発に活動を実施。（支部役員の若返りを図っている）
- ・関東支部とブリヂストン小平支部とは連携して活動を実施。
- ・企業内支部は、定例会以外に新入社員の歓迎会、若年層のみの交流会等、工夫した活動を実施。
- ・企業内支部を卒業された方や広島県内の企業内支部以外の会員の受け皿とすべく、2019年4月に広島支部が発足。（支部長：4類、H3卒、井上和博さん）
- ・会員が高齢化している支部、参加者が固定化し活動も停滞しているところもある。
- ・「総会」「懇親会」と堅苦しいので、「〇〇支部の集い」等のネーミングに工夫して若い人でも気軽に参加できるようにしている。（中国電力デルタ会）

(4) 工学部・工学研究科の現状と今後の課題（広島大学大学院工学研究科長 菅田 淳 先生）

- ・課題としては
 - ・グローバル人材の育成（学生の英語コミュニケーション能力の向上、海外留学、海外の日系企業での研修等）
 - ・研究の推進（SCI論文数の停滞）
 - ・研究資金の確保（交付金の減少を外部資金で補う、地域・社会との連携）
- ・広島大学の現状
 - ・学生数：2,047人（広大10,695人の20%）、定員の1.08倍
 - ・第一類（150名）、第二類（90名）、第三類（115名）、第四類（90名）
 - ・2018年より「工学特別コース（45名）」が新設し、2018年度：46人、2019年度：48名。（1年生後期から本人の希望や成績により類に配属される）
 - ・大学ランキング：国内12位、世界321位
 - ・大学院改組
 - 2019年度：医系科学研究科、統合生命科学研究科を設置
 - 2020年度：先進理工系科学研究科を申請中
- ・工学同窓会支援活動
 - ・工学部は学部生の約80%が修士へ進学
 - ・工学部・工学研究科の就職率98.6%、①関東(195名) ②中国(94名) ③近畿(80名)
 - ・就職支援事業：企業説明会（毎年3月）
 - ・HPでの情報発信（先輩からのメッセージ）

◎工学部創立100周年記念事業

- ・2020年に工学部創立100周年となるので、2020年11月に記念式典を開催、記念オブジェを製作

(5) 意見等

- ・支援制度や本部での事務作業代行も活用してもらいたい。
- ・近隣の支部間連携、他学部の広大OBとの連携等を参考にしてもらいたい。
- ・「総会」のネーミングも工夫することもよいのではないかな。

3. 広島大学工学同窓会物故会員慰霊式

平成30年度 新霊 176名

4. 定時社員総会

(1) 表彰

- 1) 永年勤続教職員表彰（5名）
- 2) 支部長表彰（2名）
- 3) 会員表彰（2名）

(2) 議事

- ・平成30年度事業報告および決算報告、令和元年度事業計画および予算が承認。
- ・令和元年度役員の選任
- ・松尾専務理事が退任され、後任に藤本専務理事が就任

5. 記念講演会（広島大学大学院工学研究科機械物理工学専攻 教授 菅田 淳 先生）

（1）菅田教授のプロフィール

学位：工学博士（大阪大学）

専門：機械材料・材料力学

略歴：

- 1981年 大阪大学工学部機械工学科卒業
- 1983年 大阪大学大学院工学研究科
機械工学専攻博士課程前期修了
- 1983年 大阪大学工学部機械工学科 助手
- 1992年 大阪大学工学部機械工学科 講師
- 1994年 大阪大学工学部機械工学科 助教授
- 2006年 広島大学大学院工学研究科機械システム工学専攻 教授
- 2010年 広島大学大学院工学研究科機械物理工学専攻 教授
- 2019年 広島大学工学研究科長 工学部長



（2）講演「マルチマテリアル車体推進のための接合技術と強度評価」

「接合材の疲労破壊機構の解明」「接合材の強度特性評価」を研究（自動車の車体軽量化）

1) 「疲労破壊」とは

- ・小さい負荷の繰り返しで破壊が生じる現象
- ・疲労破面（ビーチマーク、貝殻状模様等）から疲労破壊の機構がわかる

2) 車体軽量化とマルチマテリアル車体

- ・エンジン車の燃費向上（CO₂削減）には車両の軽量化が必須
⇒Cセグメントの自動車で2025年には車体重量を940kgに（約250kg軽量化）
 - ・車体の材料：70%が鋼材（従来鋼60%）
従来鋼の比率を下げて他の材料を使用する必要がある
 - ①ハイテン鋼
 - ②CFRP/樹脂
 - ③軽金属（Mg、Al、Ti等）
- ◎「材料開発」「異種材料の接合技術開発」が重要となる。

- ・マルチマテリアル対応材料接合技術

- ①接着接合（接着剤）

- ②機械締結（リベット）

- ③熱溶着技術：従来の接合技術と比べて低コスト、高効率化
摩擦撹拌接合、レーザー溶接

- 3) A 1 と C F R P の熱溶着継手の基礎的疲労強度評価と表面処理の影響

- ⇒①表面処理（化学的処理（有機被膜）、機械的処理（陽極酸化））が静的強度や疲労強度の向上に有用であることを示すことができた。

- ②疲労破壊機構の詳細観察と疲労亀裂の三次元化で、疲労破壊機構を詳細に説明できるようになった。

- 4) 接着接合継手の疲労特性に及ぼす水環境の影響

- ・接着剤は水に弱い（水によって加水分解し、10万km走行すると強度が1/2に）

- ⇒さびる材料は水により接着強度が低下する（接着界面で亀裂・破壊が発生）

- 耐食性材料は水により接着強度は低下しにくい（接着剤内部で破壊が発生）

- ◎これらの評価系は、接着接合技術開発や接着剤開発に活用できる。

- 5) まとめ

- ・自動車の燃費向上には車両の軽量化が重要で、従来鋼からマルチマテリアル車体化される。

- ・マルチマテリアル車体には、「材料開発」とともに「異種材料の接合技術開発」が重要となる。

- ・接合技術の開発においては、「疲労破壊機構」を踏まえた「疲労強度の評価手法」も重要な技術となる。

- ・実際に接合技術における「表面処理」「水環境」の影響を評価することができるようになった。

- 6. 懇親会

- ・河原副学長の挨拶でスタート

- ・昨年の広島酎酔会関西支部総会で講演された第三類の中島田教授にお会いできた。

以上

広島大学工学同窓会・滋賀支部総会（2019 年 6 月 8 日開催）報告
～高垣支部長の代理で出席してのご報告です～

2019 年 6 月 13 日

報告者 豊高 勝

1. 当日の支部総会の議事録は、滋賀支部より頂戴しましたので、添付します。

＜総会での特記事項＞

- ・本部総会報告で、物故者名簿の紹介（176 名新霊で累計 6892 名）と黙祷
- ・支部長会議報告で、本部からの多くの支援制度紹介あり
 - ・会員交流支援制度（1000 円/人補助、同窓会でも支援、昨年度 13 件支援）
 - ・支部独自企画支援制度
（1000 円/人、上限 5 万円支援、昨年度 16 件支援）
 - * 支部総会・懇親会も今年度より対象として支援（1000 円/人支援）
 - ・卒業 10 年以内会員の支部活動への支援助成制度
（4000 円/人、昨年度 49 名支援）
- ・滋賀支部独自制度として、傘寿（80 歳）の会員に対する表彰制度あり、
今年度対象者あるも出席が条件なので、紹介のみ
- ・会員スピーチで新入会員の方からのスピーチあり 約 1 時間
- ・支部役員の交代：支部長 1 名、副支部長 3 名、幹事 4 名、監査 2 名の計 10 名
- ・年間活動では、ゴルフ会、カーブ応援観戦、琵琶湖鳥人間コンテストの広大応援
＜昨年度は出場無しで応援せず＞
- ・支部総会参加の状況は、案内送付 298 名、出欠返信 70 名、出席 15 名
出席者のほとんどが、60 歳以上、
立命館大学の久保教授出席＜大阪支部で講演＞

＜懇親会での特記事項＞

- ・ホテルピアザびわ湖のフルコースで会費 9,000 円
＜近年はこの場所で継続して開催＞
- ・椅子席で各自自由な形でなごやかな会食、
出席メンバーのほとんどは既に面識あり
- ・最後は、広島大学校歌斉唱あり（歌詞配布あり：添付）
グリークラブの方が、斉唱リード

2. 今後の両支部の連携について提案

- ・支部の活動企画（ゴルフ等）は、お互いの支部の会員にも呼びかけをし、
交流の機会を増やしては？（大石支部長には、提案済み）

以上

(件名) 令和元年度(第32回)滋賀県支部総会実施報告(令和元年6月10日滋賀県支部)
下記内容で平令和元年度滋賀県支部総会を開催しましたので、ご報告致します。

記

1. 開催日 令和元年6月8日(土)
2. 会場 滋賀県大津市におの浜 県民交流センター・ピアザ淡海
3. 出席者 滋賀県支部会員 総会: 16名(懇親会: 15名) (出席者名簿添付)
来賓: 関西支部、広島大学関西フェニックスの会々長 豊高勝様
3. 総会 302号会議室 10時~12時
(概要)・支部長挨拶と本部総会報告、物故者への黙祷、役員改選と新支部長挨拶の後、会計報告
・本年度は役員改選の年で、支部長が廣實様から大石様に、会計が森原様から八田様へ、新たに幹事として岩田様が参加
・広島大学関西フェニックスの会々長 豊高勝様から、会と大阪支部のご紹介
・会員スピーチ
【講師】岩田幹夫様(Ⅲ類S63卒、技術士、パナソニック株式会社アプライアンス社)
【テーマ】『リスクから見る品質と日本人-品質専門技術士と
一緒に考えるリスクアセスメント&マネジメント-』
昨今の企業品質不祥事をリスクというキーワードを通して、品質と日本人の特性から見て、品質専門技術士の立場から、また、ご自身の育った環境、経験を織り込み、リスクアセスメント&マネジメントについて、非常に面白く、分かり易く、ご説明いただきました。また、技術士制度についてもご紹介していただき、参考になりました。
4. 懇親会 階上のホテルピアザびわ湖6F 和宴会場 12時~15時
・宴席は一人ずつのテーブルと椅子で会食、懇談、校歌斉唱
・次回は令和2年6月13日(土)開催予定
【懇親会集合写真】「令和元年度(第32回)滋賀県支部総会」懇親会場にて



以上 (記: 塚原)

本部だより NO.24 (2019-2)

2019.8.16

「本部だより NO.24(2019-2)」をお届けいたします。同窓会 HP <http://hiro-kogyokai.com/> にこれまでの「本部だより」を掲載しています。

[広島大学工学同窓会誌第 142 号をお届けします]

令和 1 年度同窓会誌第 142 号を 8 月 8 日に発刊し、皆様にお送りしました。今年は工学同窓会の建物が竣工後 30 年になりました。その様子を表紙に掲載させていただきました。例年と同様の内容で総会関係記事が多いですが、支部・クラス会だよりもいくつか投稿をいただいています。次年度も多くの方からの投稿をお願いいたします。

会誌の原稿募集のお知らせ

同窓会誌に、「技術と文苑」と「支部・クラス会だより」をもっと掲載したいと考えています。

「技術と文苑」は工学に関するものだけでなく、長年継続している趣味、ボランティア活動、随想、紀行文、学生時代の思い出、定年後の挑戦などホッとさせる記事、柔らかい内容の記事をお気軽に寄せ下さい。

「支部・クラス会だより」は、大きめの集合写真の場合、会誌全幅で掲載いたします。

原稿は (Word)、写真は(Jpeg)の添付ファイルで工学同窓会まで

E-mail: hirokogyo@bronze.ocn.ne.jp でお送りください。来年度の会誌に掲載する締切は令和 2 年 6 月 20 日です。

その他、受賞等のお慶び、訃報等の会員の動静についての連絡もお願いいたします。

[平成 30 年度第二回先輩交流アワーについて]

広島大学大学院工学研究科の令和 1 年度第二回 (通算第 11 回) 講義「先輩交流アワー (旧名 ようこそ先輩)」が、工学研究科の学生情報発信基地「おもしろラボ」で令和 1 年 7 月 22 日に開催されました (写真)。講師は同窓会が推薦した、工学部卒業生の中川直樹氏 (Ⅱ5、中電プラント株式会社) です。約 20 名の電気系大学院生が参加してくれました。「業務経歴と当社の紹介」～組織の中で働くこと～と題して、社会人となってからの自らの体験を色々な観点から熱く語っていただき、活発な質疑が続きました。



先輩交流アワーの様子

[広島大学原爆死没者追悼式について]

例年のとおり、8月6日午前10時から広島大学原爆死没者追悼式が千田町キャンパスでとりおこなわれました。大学関係者、同窓会関係者、遺族、学生代表などが出席されました。専務理事が広島大学工学同窓会を代表して出席して参りました。今年も、旧教職員を代表して片島三朗先生（広島大学工学同窓会顧問）が出席しておられました。

8月6日の午後に、工学部内の慰霊碑に行き黙祷しました。慰霊碑は、昭和46年（1971年）工学部創立50周年記念事業として広島市千田町の旧母校内に建立されたものです。

慰霊碑横の標識碑には、「広島大学工学部並びに前身諸学校の教職員と卒業生の死没者をここに合祀する」と書かれています。合祀者は平成31年3月末で6,892柱になります。標識碑背面には、「昭和57年（1982年）工学部の移転に伴い当地に移設」と書かれてあります。台風8号が通過中で曇り空でした。



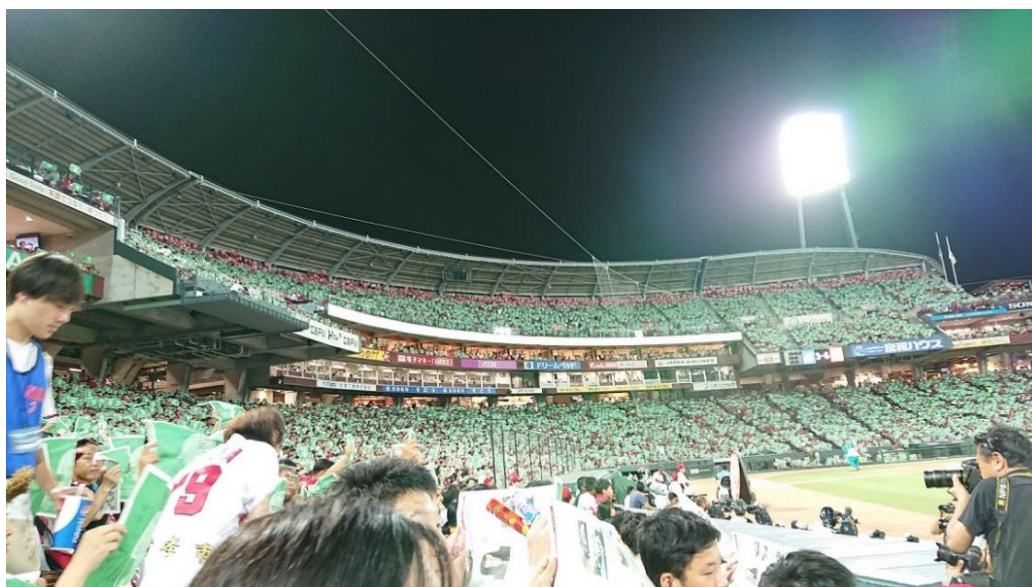
この慰霊碑は工学部 A2 棟（第四類）と A3 棟（第一類）の西側を通る通路沿いに建立されています。広島工業会誌第 123 号に片島先生の寄稿がありますが、「慰霊碑は、左右 14m、奥行 11m の浅い池の中央に四角な島が浮かび、島には 49 個の長短・角丸の異なる花崗岩塊を積み上げ、その上に約 4 トンの長方形の天石を置いて合計 50 個（創立 50 周年に因んで）の石積で構成されるものである」、「天石には何の文字も刻まれていない」とあります。

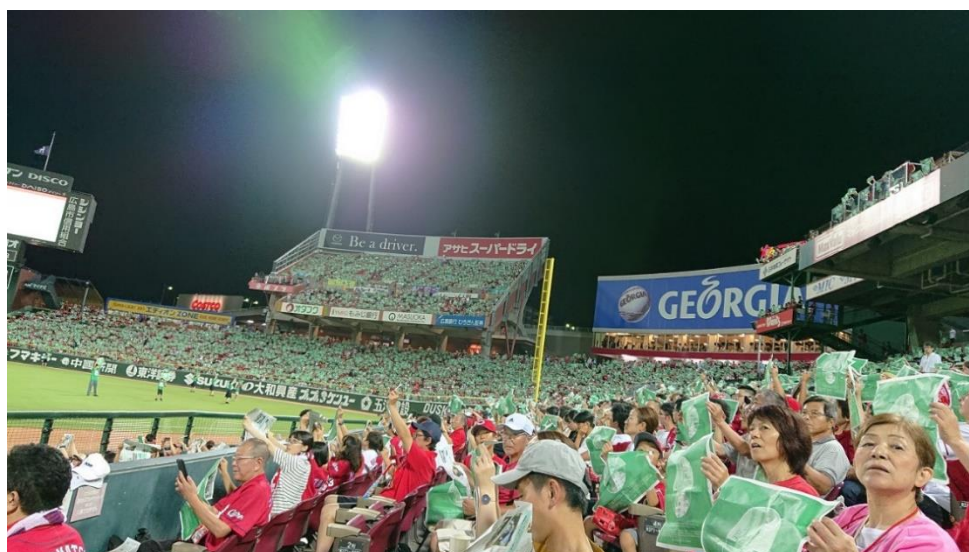


[会員・支部・本部ニュース]

広島大学工学同窓会の HP トピックス欄に掲載する会員や支部ニュースがありましたら、本部宛てお送りください。最近トピックス欄に掲載した会員・支部・本部ニュースは以下の通りです。詳細は同窓会 HP <http://hiro-kogyokai.com/> をご覧ください。

下写真は、8月6日のピースナイター2019(広島東洋カープ VS 横浜 DeNA ベイスターズ)を事務局のカープ女子が撮影したものです。





令和元年 7 月 2 9 日

「広島大学関西フェニックスの会」 会員 各位

広島大学関西フェニックスの会
会 長 豊高 勝

「広島大学関西フェニックスの会」 総会の開催（御案内）

暑さもことのほか厳しき折、会員の皆様方におかれましては、益々、御清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、会員相互の親睦と交流を目的として、「広島大学関西フェニックスの会」例会を下記のとおり、開催いたしますので、御多忙中とは存じますが、是非とも御出席いただきますよう御案内申し上げます。

今年度も会員相互の親睦・教養の向上推進事業の一貫として、広島大学より、二川浩樹 大学院医系科学研究科（歯）教授の興味深い講演を企画しています。また、出席者の皆さまには、協賛企業からの特典も多数用意しております。

「関西フェニックスの会」も平成 20 年 9 月発足から 11 年目を迎え、広島大学応援の活動と併せて、平成 28 年度より会員相互の交流や会員加入促進の為の新企画・運営を進めております。

会員以外の方でも結構ですので、今後の活動への参加、会員加入の勧誘等、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

お手数ですが、8 月 3 0 日（金）までに、出欠の御都合を広島大学関西フェニックスの会事務局までメールまたは F A X にてお返事頂ければ幸いです。

記

日 時：令和元年 9 月 7 日（土）	1 1 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0
（1）例 会	【 3 0 分】 1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0
（2）講演会	【 6 0 分】 1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 3 0
（3）懇親会	【 1 2 0 分】 1 2 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0

※なお、役員の方々におかれましては、例年、例会の開催前に役員会を行っていましたが、日時の都合等で今回は行いません。その代わりに、事前に資料を送付し、メール審議にしますので、よろしくお願いいたします。

場 所：大阪産業創造館 5F 研修室 C（例会・講演会）
大阪産業創造館 16F 和献洋彩にんにん&中華菜館 桃莉（懇親会）

（所在地）大阪府大阪市中央区本町 1 丁目 4-5

（電話番号）06-6264-9800

（最寄駅）Osaka Metro「中央線」、「堺筋線」の堺筋本町駅

<https://www.sansokan.jp/map/>

内 容（予定）：

（１）例会の議題

- ①会長挨拶、承認事項及び活動状況報告
- ②広島大学グローバルキャリアデザインセンター報告
- ③その他

（２）講演会

広島大学大学院医系科学研究科（歯）

二川 浩樹（にかわ ひろき）教授

題目：歯科からのイノベーション



【講師紹介】

普段私達が生活していて、L8020 乳酸菌を使用した手軽に食べられる食品や、洗口液等を目にすることも多いと思いますが、この L8020 は二川教授が発見されたものです。

誰もが身近で関心のあるお口の問題について、先生にわかりやすくお話しいただきますので、ぜひご来場ください。

（３）懇親会

会費：３、５００円（当日会場にて、集金させていただきます）

【窓 口】

広島大学 グローバルキャリアデザインセンター

キャリア支援グループ 主任

沖野 透 （おきの とおる）

〒７３９－８５１４ 東広島市鏡山１－７－１

Tel 082-424-6987 FAX 082-424-6989

Email career-group@office.hiroshima-u.ac.jp

案内図

